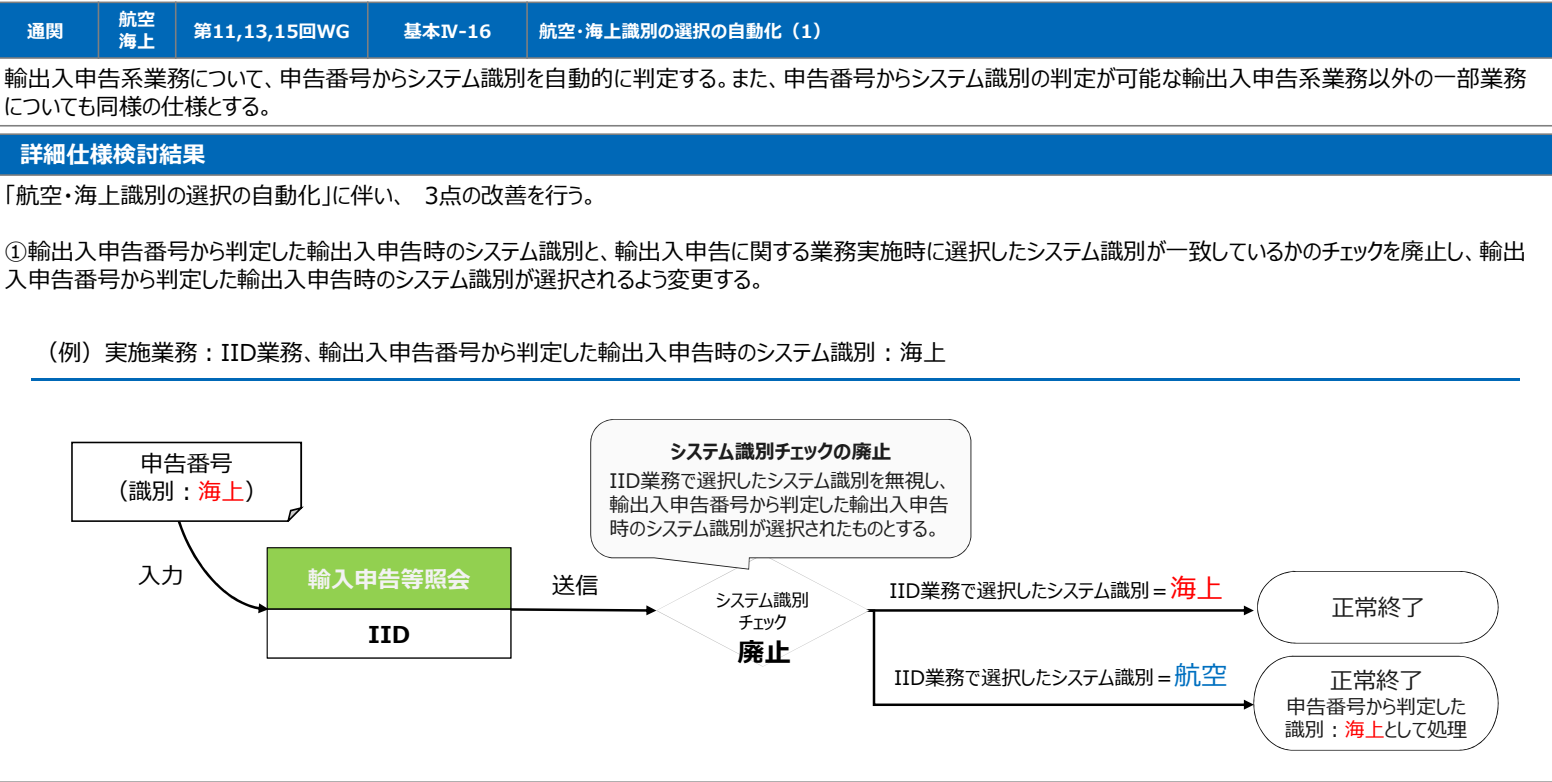


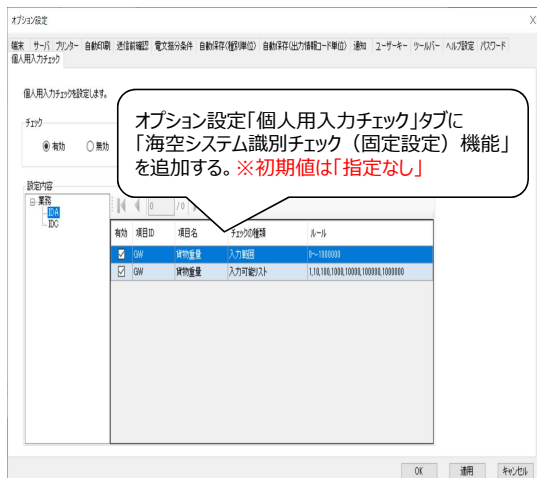
<通関編>



## VIII 詳細仕様検討結果

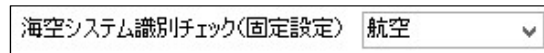
通関 航空 第11,13,15回WG 基本IV-16 航空・海上識別の選択の自動化（2）

②NACCSパッケージソフトにおいて、システム識別が航空・海上共通の業務を実施する際に、入力時のシステム識別を利用者ごとにオプション設定で「航空」のみ、または「海上」のみを選択可能とする機能を追加する。

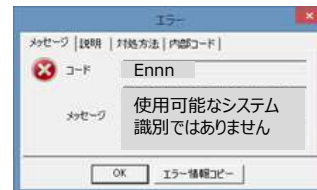


例：「海空システム識別チェック（固定設定）：航空」を設定し、IDA.SID業務（識別：海上）を展開する場合

①オプション設定で「海空システム識別チェック（固定設定）：航空」を設定



②業務コード・種別を選択し、画面展開しようとする、エラーメッセージが表示され、画面展開されない。

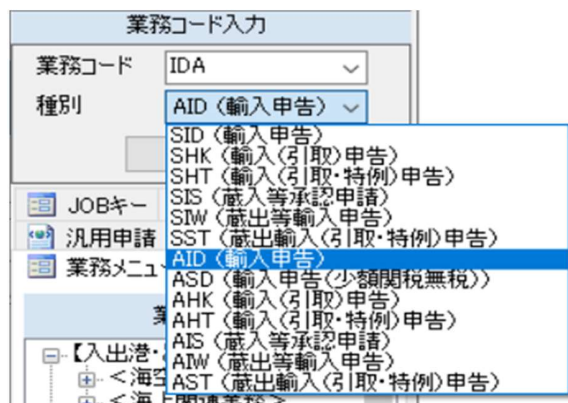


## VIII 詳細仕様検討結果

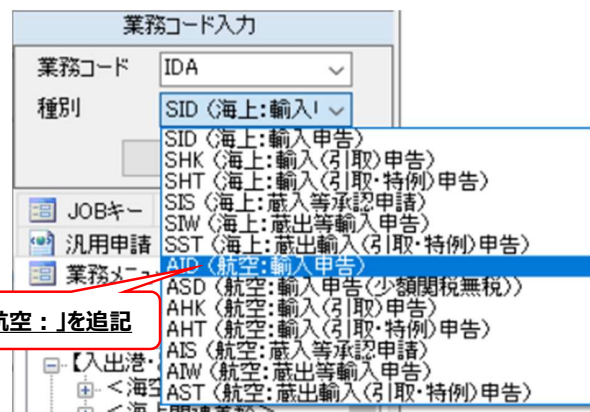
通関 航空 第11,13,15回WG 基本IV-16 航空・海上識別の選択の自動化（3）

③「種別（画面コード）」にて、システム識別の「航空」または「海上」を選択する業務において、画面コードが「航空」か「海上」かが分かりやすいように画面名の先頭に、日本語表記（「航空：」または「海上：」）を追加する。

現行パッケージソフト



次期パッケージソフト



## VIII 詳細仕様検討結果

| 通関                                      | 航空<br>海上 | 第11回WG | 基本 IV-4 | 「申告添付訂正（MSY01）」等の通信文のみの修正可能化 |
|-----------------------------------------|----------|--------|---------|------------------------------|
| 「申告添付訂正（MSY01）」業務において、「通信欄」のみの変更を可能とする。 |          |        |         |                              |

### 詳細仕様検討結果

#### 【現行仕様】

MSY01業務において、「通信欄」のみを変更し送信した場合、下図のエラーが出力され、変更が不可となっている。

#### エラー

「R0009」：添付ファイルの追加、削除、または提出区分の訂正のいずれも行われていない。

「通信欄」の変更を行う場合は、添付資料の追加等が必要となり、手間が発生している。  
(添付ファイルの追加、削除等をしないとエラーとなる)

#### 【次期仕様】

MSY01業務において、「通信欄」のみを変更した場合でも送信を可能とする。  
(添付ファイルの追加、削除等がなくとも「通信欄」のみの変更が可能となる。)

## VIII 詳細仕様検討結果

| 通関                                 | 航空<br>海上 | 第10,14,17,19回WG | 基本IV-16 | 納付書等出力先の改善 |
|------------------------------------|----------|-----------------|---------|------------|
| 航空申告分の納付書情報の出力先として、代表通関業者を設定可能とする。 |          |                 |         |            |

### 詳細仕様検討結果

- 以下の帳票について、航空申告分の出力先として、代表通関業者を設定可能とする。また、代表通関業者への出力可否を、「海上」と「航空」で分けることを可能とする。  
対象帳票：納付番号通知情報（※即時納付（特例申告の即納は除く）以外のもの）、納付番号通知情報（一括）、一括納付書情報、一括納付書明細書情報、一括納付用明細データ、一括納付用明細総括データ
- 管理資料のファイル名を変更し、輸入者単位で納税方式順に納付書が出力されるようにする。

|                   | パターン1            | パターン2             | パターン3   | パターン4               | パターン5 | パターン6               | パターン7            | パターン8                |
|-------------------|------------------|-------------------|---------|---------------------|-------|---------------------|------------------|----------------------|
| 条件1 担保提供者         | 通関業者<br>(利用者コード) | 輸出入者<br>(輸出入者コード) |         |                     |       |                     |                  |                      |
| 条件2 納付書関連<br>出力表示 | ↓                | 申告者に出力            | 輸出入者に出力 | 代表通関業者に出力<br>(海上のみ) |       | 代表通関業者に出力<br>(航空のみ) |                  | 代表通関業者に出力<br>(海上・航空) |
| 条件3 海上・航空         | ↓                | ↓                 | ↓       | 海上                  | 航空    | 海上                  | 航空               | ↓                    |
| 条件4 代表通関業者<br>コード | ↓                | ↓                 | ↓       | 代表通関業者<br>利用者コード    | ↓     | ↓                   | 代表通関業者<br>利用者コード | 代表通関業者<br>利用者コード     |
| 出力先               | 申告者              | 申告者               | 輸出入者    | 代表通関業者              | 申告者   | 申告者                 | 代表通関業者           | 代表通関業者               |

海上のみ代表通関業者へ出力される。

航空のみ代表通関業者へ出力される。

海上、航空ともに同一の代表通関業者へ出力される。

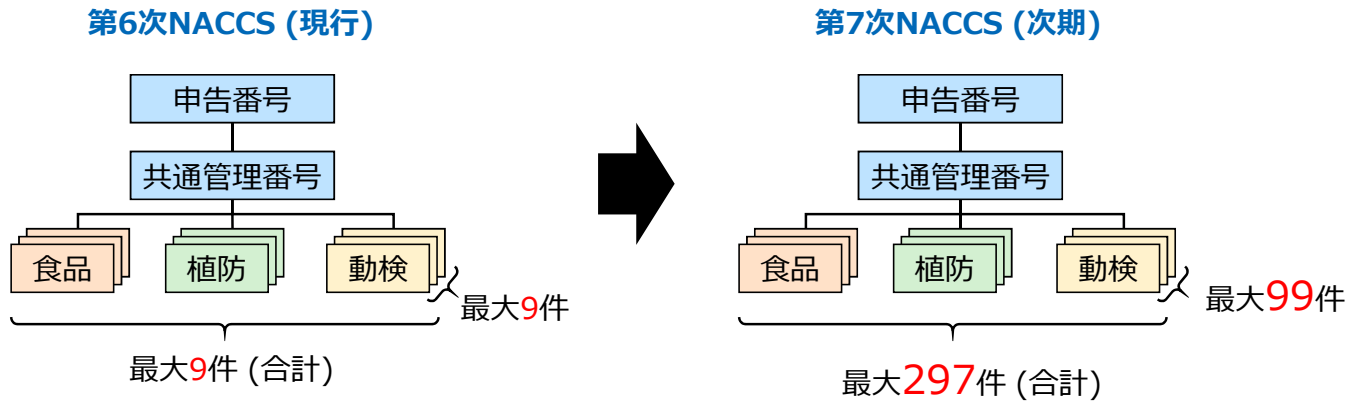
## VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第12,16回WG 基本IV-16 共通管理番号の番号紐づけ数拡大

共通管理番号に紐づけ可能な他法令届出・申請件数を最大297件に拡大する。

### 詳細仕様検討結果

共通管理番号に紐づけ可能な他法令届出・申請件数を最大297件（食品衛生、植物防疫、動物検疫それぞれ9件→99件）に拡大する。



## VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第12回WG 基本IV-16 共通管理番号の自動補完

輸入申告および他法令届出・申請の事項登録時に、共通管理番号でのリンクを選択し、「共通管理番号」欄がblankの際、「輸入者コード」と「B/L番号／AWB番号」が同一の共通管理番号が既にシステムに登録されている場合は、共通管理番号を自動補完しリンクする。

### 詳細仕様検討結果

IDA業務 入力画面  
共通部 繰返部

大額/少額\* ☐ 申告等種別\* ☐ 申告先種別 ☐ 貨物識別 ☐ 申告番号  
 あて先官署 ☐ あて先部門 ☐ 識別符号 ☐ 申告等予定年月日

輸入者 1234567890123-0000

住所

中略

B/L番号1\* BLN000001 2   
 3  4   
 5

貨物個数  貨物重量 (グロス)

貨物の記号等

積載船 (機)  -  入

船 (取) 卸港  積出地  貿易形態

戻税申告 ☐ 貿易管理令 ☐ 輸入承認証 ☐ 内容点検結果 ☐

他法令 FD ☐ 共通管理番号  食品 ☐ 2

輸入承認証等1  2  3   
 4  5  6

共通管理番号 : K000000011を自動補完

食品等輸入届出  
事項登録  
IFA  
共通管理番号 :  
K000000011

共通管理番号のコピー&ペーストや  
他担当者への伝達が不要となる

「共通管理番号」の入力が無い場合、「輸入者コード」と「B/L番号／AWB番号」が同一の共通管理番号を自動補完し、リンクする。

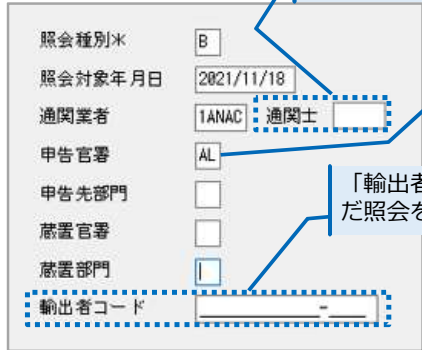
## VIII 詳細仕様検討結果

| 通関 | 航空<br>海上 | 第11回WG | 基本IV-4 | 輸出入申告等一覧照会業務における全官署照会の可能化 |
|----|----------|--------|--------|---------------------------|
|----|----------|--------|--------|---------------------------|

輸入申告等一覧照会(IDI)業務、輸出申告等一覧照会(IES)業務、及び別送品輸出申告等一覧照会(IUE)業務において、「税関官署コード」欄に「AL」が入力された場合は、あて先官署単位に全官署のデータを出力する。「通関士コード」、「輸出入者コード」欄を項目追加し、入力したコードで絞り込んだ照会を可能とする。

### 詳細仕様検討結果

**IES業務入力画面**



「通関士コード」欄を追加し絞り込んだ照会を可能とする

申告官署に「AL」を入力する事で、全官署を対象とした照会を可能とする

「輸出者コード」欄を追加し絞り込んだ照会を可能とする

入力された申告官署を出力  
(「AL」が入力された場合「AL」を出力)

繰返し部に出力中の申告官署を出力  
(非活性：入力不可項目)

① 申告官署欄に「AL」を入力することで入力内容にかかる官署単位に全官署分のデータを出力する。

② 入力画面に「通関士コード」欄、「輸出者コード」欄(IUE業務を除く)を追加し、入力した通関士コードおよび輸出入者コードで絞り込んだ照会を可能とする。

③ 照会結果画面から申告官署等を繰返し入力し展開可能にする。

④ 出力共通部に「通関士コード」、「輸出入者コード」(IUE業務を除く)、「申告官署(出力中)」の項目を追加する。

**IES業務照会結果画面**



出力項目を活性化し繰返しの照会を可能とする

次の官署分の情報がある場合は、継続データがある旨のワーニングを出力

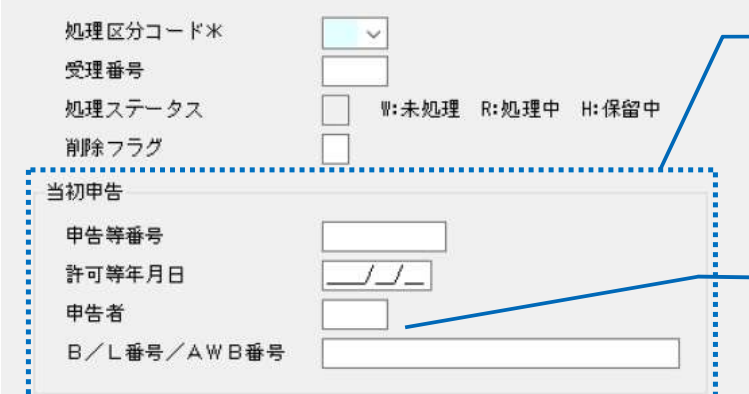
## VIII 詳細仕様検討結果

| 通関 | 航空<br>海上 | 第11回WG | 基本IV-4 | 「当初輸入申告呼出し(修正申告)(DLI02)」業務における当初申告情報の呼出し可能権限の拡大 |
|----|----------|--------|--------|-------------------------------------------------|
|----|----------|--------|--------|-------------------------------------------------|

DLI02業務に「当初申告利用者コード」および「当初B/L番号/AWB番号」を項目追加し、DLI02業務実施者と当初申告者が異なる場合は、追加項目を必須とし呼出し処理を可能とする。

### 詳細仕様検討結果

#### DLI02業務 入力画面



当初申告に係る情報を入力する項目について、レイアウトをまとめて、パッケージソフトのラベル名を修正

「当初申告利用者コード」欄に入力が無ければ、6次NACCSと同様にDLI02業務の送信者で申告者チェックを実施する。

以下の新規入力項目を追加する。

- ・「当初申告利用者コード」欄
- ・「当初B/L番号/AWB番号」欄

① 新規入力項目「当初申告利用者コード」欄に入力された利用者コードで申告者チェックを行う。

② 新規入力項目「当初B/L番号/AWB番号」欄に入力された番号が当初申告の内容と一致しているかのチェックを行う。

※自社通関の場合でも輸入許可通知書へ利用者コードを出力するよう変更し、当初申告した利用者コードを入力する仕様とする。

## VIII 詳細仕様検討結果

| 通関                                                                              | 航空<br>海上 | 第11回WG | 基本IV-4 | 「当初輸入申告呼出し（修正申告）（DLI02）」業務等実施後の呼出し処理可能時間の拡大 |
|---------------------------------------------------------------------------------|----------|--------|--------|---------------------------------------------|
| 当初輸入申告情報呼出し業務の呼出し処理可能時間を原則24時間可能とする。<br>ただし、一部の時間帯については呼出し処理起動までの時間制限を設けることとする。 |          |        |        |                                             |

### 詳細仕様検討結果

通常10分以内に呼出し処理が実施されるが、下記の制限時間帯にDLI業務を実施した場合は、10分以上待つから呼出し処理が実施される。  
なお、制限時間帯は第6次NACCSの実績を参考として記載しており、第7次NACCSの運用により変更の可能性がある。

| 大項目  | 制限時間帯                                                          | 制限時間後の処理起動時刻     |
|------|----------------------------------------------------------------|------------------|
| 通常時  | ①毎日19:50~20:00<br>②毎日23:50~00:00                               | ①20:10<br>②00:10 |
| 保守前日 | ①保守日前日 21:50~22:20<br>②保守日前日 22:50~23:20                       | ①22:30<br>②23:30 |
| 保守日  | 奇数月第3日曜 02:20~02:30<br>(02:30~05:00までは保守時間帯のためDLI業務自体<br>送信不可) | 05:00            |

## VIII 詳細仕様検討結果

| 通関                                                                                        | 航空<br>海上 | 第10回WG | 基本IV-4 | 「関税割当証明書裏落数量仮登録（TQC）」業務の裏落とし回数上限の引き上げ |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------|--------|---------------------------------------|
| TQC業務での裏落内容の件数を最大300件から999件に拡大し、欄部を300欄から999欄に変更する。<br>関税割当証明書内容照会(ITQ)業務も合わせて出力件数の変更を行う。 |          |        |        |                                       |

### 詳細仕様検討結果

変更イメージは以下の通り。 TQB業務呼出し後の関税割当裏落内容登録情報(CAD015)：TQC業務入力画面  
300欄（最大ページ数30）

証明書内容 裏落内容

申告等番号（仮登録） 通関数量（仮登録）

1 / 30

処理区分 申告等番号 通関数量 状態 官署 輸入許可年月日



欄数を300→999に変更（最大ページ数100）

証明書内容 裏落内容

申告等番号（仮登録） 通関数量（仮登録）

1 / 100

処理区分 申告等番号 通関数量 状態 官署 輸入許可年月日

**NACCS**  
Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System

**詳細仕様検討結果**

貨物管理有蔵置場における蔵入承認済貨物に対する再移入、再総保入承認申請の場合で、通関予定蔵置場が蔵入承認済貨物の貨物管理を行う蔵置場としてシステムに登録されている場合、貨物情報を更新するように変更する。

- ※ 移入等先で到着確認(CAS業務)または搬入確認(BIA業務)が実施されると、貨物情報は後日自動削除(日祝除く2日保存)される。
- ※ 貨物情報が削除対象となることで、税関様によるマニュアル削除が不要となる。



**NACCS**  
Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System

## 詳細仕様検討結果

© 2013 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted, in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or by any information storage or retrieval system, without prior written permission from Pearson Education, Inc.

## VIII 詳細仕様検討結果

| 通関                                  | 航空<br>海上 | 第12回WG | 基本IV-4 | 「輸出申告事項登録（EDA）」業務等の「インボイス番号」項目の仕様変更 |
|-------------------------------------|----------|--------|--------|-------------------------------------|
| EDA業務等の「インボイス番号」項目にアンダーバーの入力を可能にする。 |          |        |        |                                     |

### 詳細仕様検討結果

以下の業務を対象に「インボイス番号」項目にアンダーバーの入力を可能にする。  
上記に伴い、当該業務の出力画面・出力帳票および当該業務の後続業務の出力画面・出力帳票にてアンダーバーの出力を可能にする。

| 業務コード       | 業務名                   |
|-------------|-----------------------|
| EDA         | 輸出申告事項登録              |
| EDA01       | 輸出申告変更事項登録            |
| EAA         | 輸出許可内容変更申請事項登録        |
| IIR         | 輸入指示書登録               |
| IDA         | 輸入申告事項登録              |
| IDA01       | 輸入申告変更事項登録            |
| IVA         | インボイス・パッキングリスト情報登録    |
| IVB         | インボイス・パッキングリスト仕分情報登録  |
| IVB02       | インボイス・パッキングリスト仕分情報仮登録 |
| ACL01/ACL02 | ACL情報登録               |
| SIR         | 船積指圖書（S/I）情報登録        |

## VIII 詳細仕様検討結果

| 通関                                             | 航空<br>海上 | 第7,10回WG | 基本IV-17 | 管理資料「輸出申告一覧データ(H01)」の改善（1） |
|------------------------------------------------|----------|----------|---------|----------------------------|
| 管理資料「輸出申告一覧データ（H01）」の出力項目・出力対象を追加、出力形式を一部変更する。 |          |          |         |                            |

### 詳細仕様検討結果

- ①以下の項目を出力項目として追加する
- 通関士
- ※ 管理資料「輸入申告一覧データ（I51）」についても同様の追加を実施する
- ②以下の申告・申請を出力対象として追加する
- 輸出取止め再輸入申告、特例輸出貨物の輸出許可取消申請
- ※ 以下の管理資料についても同様の追加を実施する
- H02「輸出貨物許可承認等実績データ」
  - H03「輸出通関取扱件数データ（日報）」
  - H04「輸出通関取扱件数データ（月報）」

1：輸出取止め再輸入申告  
2：特例輸出貨物の  
輸出許可取消申請

| 許可日      | 申告日      | 申告番号        | ... | 輸出取止め再輸入申告・<br>特例輸出貨物の輸出許可取消表示 | ... | 通関士   |
|----------|----------|-------------|-----|--------------------------------|-----|-------|
| 20211124 | 20211124 | XXXXXXXXXX0 | ... |                                | ... | ##### |
| 20211125 | 20211125 | XXXXXXXXXX1 | ... | 1                              | ... | ##### |
| 20211125 | 20211125 | YYYYYYYYYY0 | ... |                                | ... | ##### |
| 20211125 | 20211125 | YYYYYYYYYY1 | ... | 2                              | ... | ##### |

輸出申告一覧データ（H01）の出力イメージ

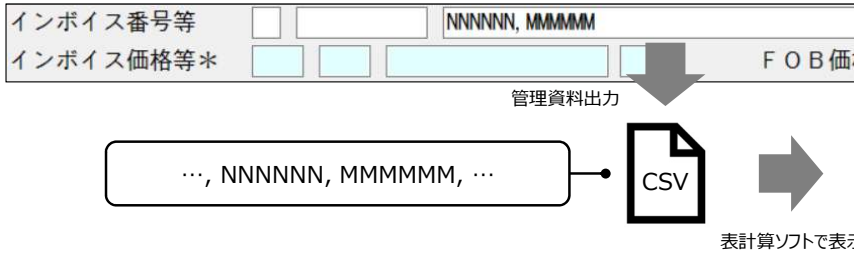
## VIII 詳細仕様検討結果

|    |          |          |         |                             |
|----|----------|----------|---------|-----------------------------|
| 通関 | 航空<br>海上 | 第7,10回WG | 基本IV-17 | 管理資料「輸出申告一覧データ(H01)」の改善 (2) |
|----|----------|----------|---------|-----------------------------|

### ③「インボイス番号」を文字列として出力する

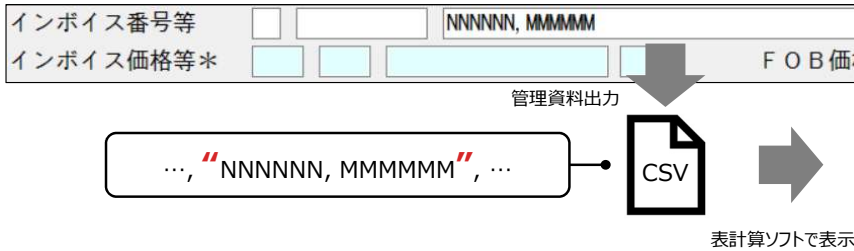
#### 現行

インボイス番号に「,」が含まれる場合に、表計算ソフト上でセルが分割されてしまう。



#### 次期

インボイス番号を文字列として出力する。(インボイス番号をダブルクォーテーションで囲む)



## VIII 詳細仕様検討結果

|    |          |       |                   |                     |
|----|----------|-------|-------------------|---------------------|
| 通関 | 航空<br>海上 | 第7回WG | 基本IV-4<br>基本IV-17 | 管理資料の追加 (見本持出申請の一覧) |
|----|----------|-------|-------------------|---------------------|

管理資料として新たに「見本持出許可申請一覧データ」を追加し、前月中の見本持出許可および見本持出許可取消に関するデータを収集し、一覧形式で提供する。

### 詳細仕様検討結果

#### 【提供概要】

- (1) 周期 : 月次 (毎月1日)
- (2) 出力先 : 見本持出許可申請 (MHA、MMA) 業務の申請者  
(航空会社、通関業、機用品業、混載業、保税蔵置場、CY、NVOCC、海貨業、汎用申請者)
- (3) 出力単位 : 利用者コード単位

#### 出力イメージ図

| (出力共通項目)      |      |             |          |          |          |      |                                     |       |          | … 他項目     |
|---------------|------|-------------|----------|----------|----------|------|-------------------------------------|-------|----------|-----------|
| 99999999      | X    |             |          |          |          |      |                                     |       |          |           |
| 見本持出許可申請一覧データ |      |             |          |          |          |      |                                     |       |          |           |
| 海空識別          | 申請官署 | 見本持出許可申請番号  | 申請年月日    | 許可年月日    | 取消年月日    | 貨物区分 | 貨物管理番号 / A W B 番号                   | 蔵置場所  | 搬入年月日    | 持出期間開始年月日 |
| X             | XX   | XXXXXXXXX1X | 99999999 | 99999999 | 99999999 | X    | XXXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXX | XXXXX | 99999999 | 99999999  |
| X             | XX   | XXXXXXXXX1X | 99999999 | 99999999 | 99999999 | X    | XXXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXX | XXXXX | 99999999 | 99999999  |
| X             | XX   | XXXXXXXXX1X | 99999999 | 99999999 | 99999999 | X    | XXXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXX | XXXXX | 99999999 | 99999999  |
| ※明細数分繰り返す     |      |             |          |          |          |      |                                     |       |          |           |
| X             | XX   | XXXXXXXXX1X | 99999999 | 99999999 | 99999999 | X    | XXXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXX | XXXXX | 99999999 | 99999999  |

## VIII 詳細仕様検討結果

|    |          |        |        |           |
|----|----------|--------|--------|-----------|
| 通関 | 航空<br>海上 | 第13回WG | 基本IV-4 | 包括保険業務の改善 |
|----|----------|--------|--------|-----------|

「包括保険仮事項登録（HHA/HHA0W）」業務の「パスワード」「保険識別」「適用開始年月日」について改善を行う。

### 詳細仕様検討結果

|                         | 現行仕様                            | 次期仕様                           | 改善点                                                     |
|-------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 入力可能なパスワード              | 大文字英数字 / 4桁                     | 大文字英数字 / 4桁～12桁                | 設定可能な桁数の上限を上げることでセキュリティ機能を強化する。                         |
| Cost and Freight<br>の表記 | C&F                             | C&F(CFR)                       | 改正後の表記を追記する。<br>なお、後続の輸入申告ではC&Fの表記が使用されるためC&Fの表記は残存とする。 |
| 料率変更時の<br>ワーニング出力       | 「適用開始年月日」の入力がない場合に、ワーニングの出力がない。 | 「適用開始年月日」の入力がない場合に、ワーニングを出力する。 | 「料率変更」を実施する際に、適用開始年月日の入力漏れにより、誤った料率が適用されることを防止する。       |

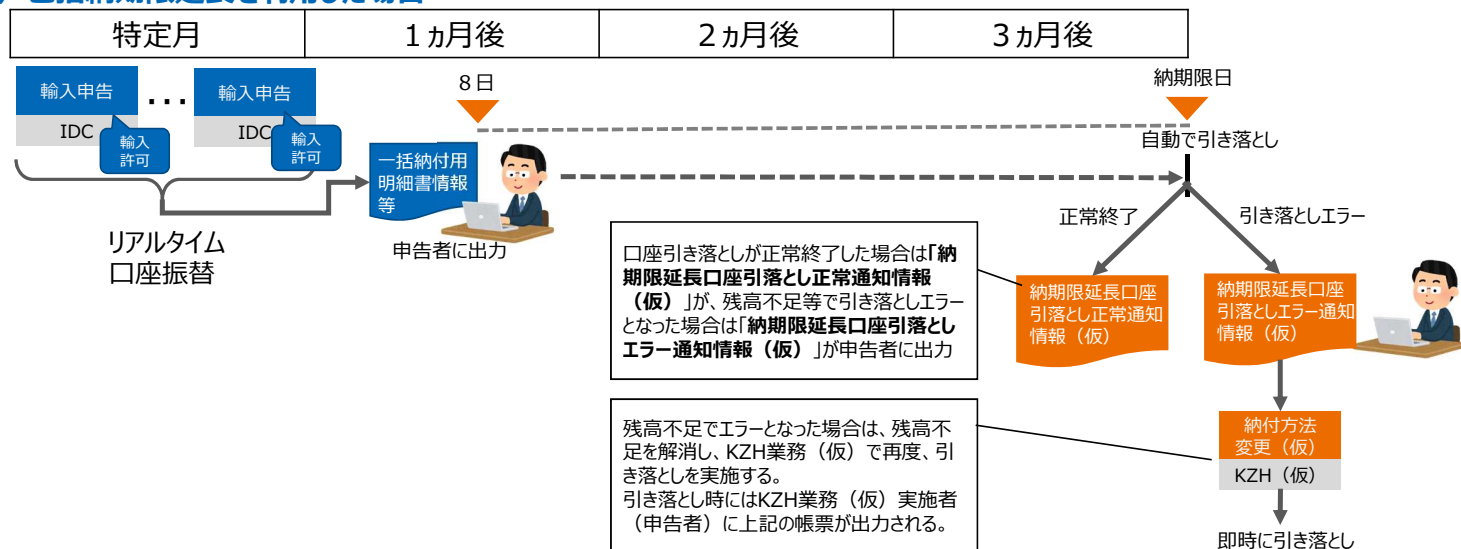
## VIII 詳細仕様検討結果

|    |          |           |                    |                       |
|----|----------|-----------|--------------------|-----------------------|
| 通関 | 航空<br>海上 | 第16,19回WG | 基本IV-14<br>基本IV-18 | 納期限延長に係るリアルタイム口座対応（1） |
|----|----------|-----------|--------------------|-----------------------|

関税等の納期限延長制度(個別納期限延長、包括納期限延長、特例納期限延長)を利用した申告について、リアルタイム口座振替による納付を可能とする。

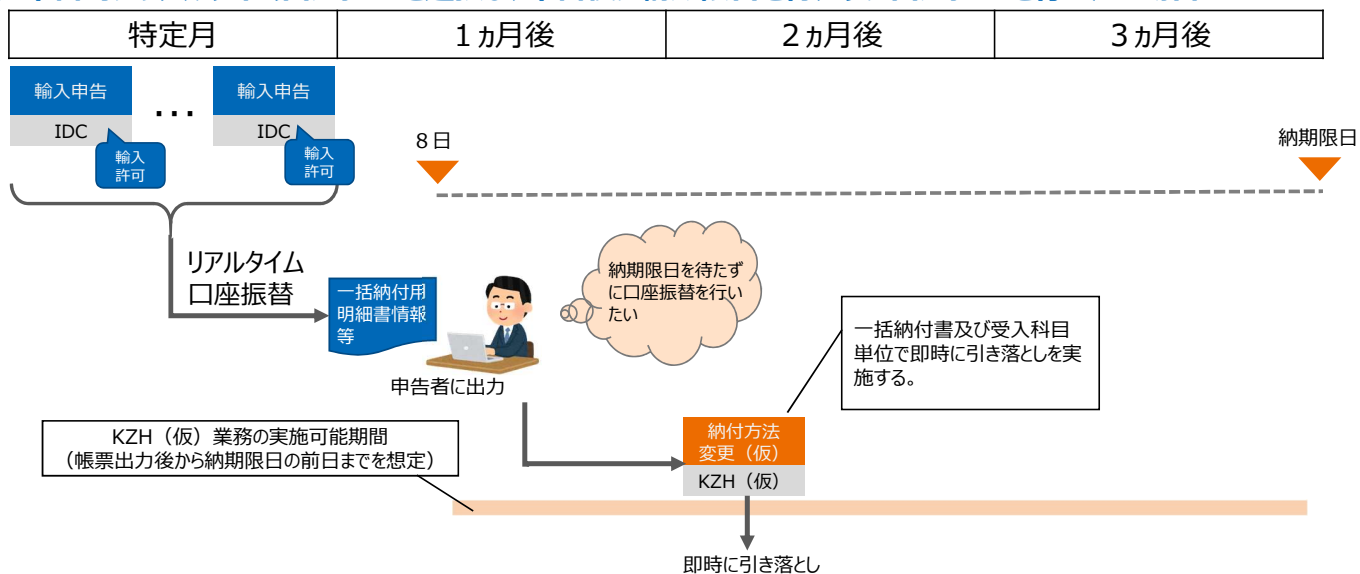
### 詳細仕様検討結果

#### （例）包括納期限延長を利用した場合



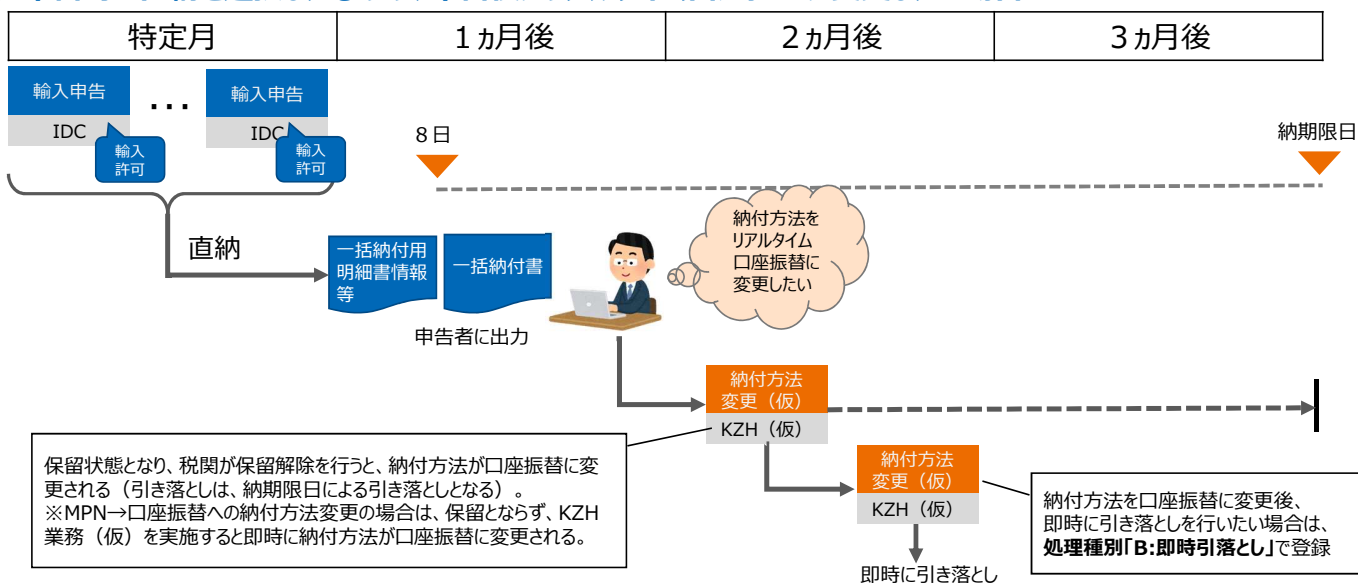
通関 航空 第16,19回WG 基本IV-14 基本IV-18 納期限延長に係るリアルタイム口座対応 (2)

(例) 申告時にリアルタイム口座振替を選択し、申告後に納期限日を待たずに口座振替を行いたい場合



通関 航空 第16,19回WG 基本IV-14 基本IV-18 納期限延長に係るリアルタイム口座対応 (3)

(例) 申告時は直納を選択したものの、申告後にリアルタイム口座振替に変更したい場合



## VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第16,19回WG 基本IV-14 基本IV-18 納期限延長に係るリアルタイム口座対応 (4)

### 納期限延長の種類及び納付方法別の出力帳票等

次期で追加する帳票等

| 種類          | 納付方法 | 納付を行うための帳票／管理資料 |    |     | 明細に関する帳票／管理資料 |                                          |       |
|-------------|------|-----------------|----|-----|---------------|------------------------------------------|-------|
|             |      | 周期              | 名称 | 出力先 | 周期            | 名称                                       | 出力先   |
| 個別<br>納期限延長 | 口座   | —               | —  | —   | —             | —                                        | —     |
| 包括<br>納期限延長 |      | —               | —  | —   | 月報<br>(8日)    | 一括納付用明細書情報<br>一括納付用明細データ<br>一括納付用明細総括データ | 申告者のみ |
| 特例<br>納期限延長 |      | —               | —  | —   | —             | —                                        | —     |

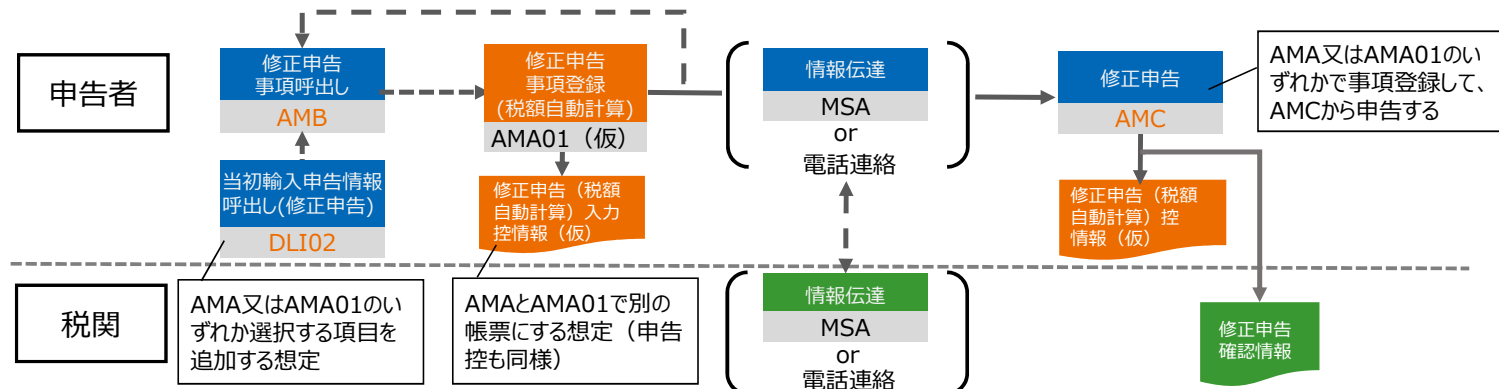
## VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第19回WG 第21回WG 基本IV-14 基本IV-18 修正申告の審査業務 効率化

税額計算機能を備えた新たな修正申告業務を設ける。  
既存の修正申告業務(AMA等)については引き続き利用可能とし、使い分けを可能とする。

### 詳細仕様検討結果

- 現行の「修正申告事項登録 (AMA)」業務は引き続き利用可能としつつ、新規に「修正申告事項登録(税額自動計算) (AMA01)」業務 (仮) を追加する。
- 現行の「当初輸入申告情報呼出し(修正申告) (DLI02)」業務を利用して当初申告情報を呼び出し、AMA01 (仮) で事項登録を行うことを可能とする。  
また、修正申告 (AMC) 後、再度、修正申告する場合に、DLI02を利用して過去の修正申告情報を呼び出し可能とする (AMA01 (仮) で事項登録した修正申告に限る。 ) 。
- 新規の「修正申告事項登録 (税額自動計算) (AMA01)」業務 (仮) では、1 件の当初申告毎に登録を行う仕様とする。
- AMA01 (仮) には、「輸入申告事項登録 (IDA)」業務相当の税額自動計算機能を設ける。
- AMA01 (仮) は第7次NACCS更改 (2025年10月頃) 後に行われた輸入申告等に対して利用可能とする。



| 通関                                                                                                                                                        | 航空<br>海上 | 第19回WG | 基本IV-4<br>基本IV-14 | 特例申告業務の改善（1） |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------|-------------------|--------------|
| <p>① 特例申告控情報に添付書類提出の有無を表示し、特例申告時に提出すべき添付書類の有無を確認可能とする。</p> <p>② 特例申告の期限内訂正について、既存業務を利用して可能とする。</p> <p>③ 一括特例申告事項登録(TKA01)業務について、輸入(引取)申告番号をシステムで補完する。</p> |          |        |                   |              |

## 詳細仕様検討結果

①特例申告控情報に添付書類提出の有無を表示

## 変更対象となる帳票や画面

「審査検査区分識別」欄4桁目にGY判定表示を出力する。

(特例申告控の帳票イメージ)

代表税務申告種別 区分 あて先税関/部門 申告年月日 (特例あて先税関/部門)  
 XXXX X XXE XXXX XXXXXXXXXX XE yyyy/MM/dd XXXXXXXXXX XE

輸入住所 XXXXXXXXXX1XXX-XXXX XXXXXXXXXX1XXXXXXX2XXXXXXX3XXXXXXX4XXXX  
 XXXXXXXX XXXXXXXX  
 電話 XXXXXXXXXX1 XXXXXXXX4XXXX  
 税関事務管理人 XXXXXXXXXX1XXX XXXXXXXX  
 輸入取引者 XXXXXXXXXX1XXX XXXXXXXX4XXXX  
 XXXXXXXX-XXXX XXXXXXXX4XXXX  
 輸出住所 XXXXXXXXXX1 XXXXXXXX2XXXXXXX3XXXXX  
 XXXXXXXX4XXXX  
 輸出の委託者 XXXXXXXXXX1XXXXXXX2XXXXXXX3XXXXXXX4XXXXXXX5XXXXXXX6XXXX  
 代理人 XXXXX XXXXXXXXXX1XXXXXXX2XXXXXXX3XXXXXXX4XXXXXXX5XXXX 通関

GY判定表示 (「審査検査  
 区分識別」欄の4桁目)  
 ※1から3桁目はスペース

※出力項目表の桁数に変更無し(4桁のまま)

## 収集変更対象となる管理資料

「輸入申告審査区分別一覽表 (I56)」

収集対象に特例申告を追加する（特例申告期限内訂正も対象。ただし、一括特例申告は収集対象外）。  
また、特例申告についてY判定処理を行い、判定結果を出力する。

## VIII 詳細仕様検討結果

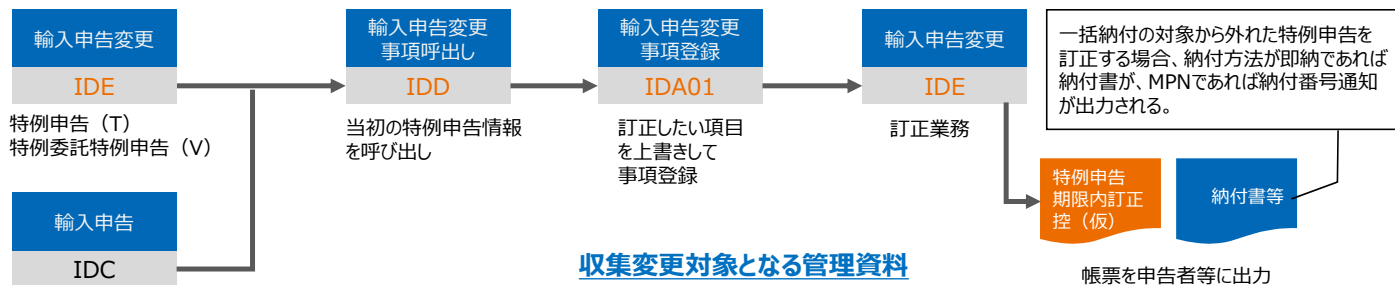
|    |      |        |                 |              |
|----|------|--------|-----------------|--------------|
| 通関 | 航空海上 | 第19回WG | 基本Ⅳ-4<br>基本Ⅳ-14 | 特例申告業務の改善（2） |
|----|------|--------|-----------------|--------------|

## ②特例申告の期限内訂正

※UTK業務で出力日を変更している場合は7日

システムで期限内訂正業務を行える期間

- 一括納付の対象となる申告（即納）を訂正する場合は、一括納付書等の出力日の前日（特定日：20日※）まで実施可能とする。  
一方、一括納付の対象から外れた申告（即納）を訂正する場合は、納税を行わない限り、特例申告期限日まで実施可能とする。
- 特例申告納期限延長を利用する申告を訂正する場合は、特例申告期限日まで実施可能とする。



## 収集変更対象となる管理資料

帳票を申告者等へ出力

輸入（引取・特例）申告等（J）  
特例委託輸入（引取・特例）申告（P）  
蔵出輸入（引取・特例）申告（R）

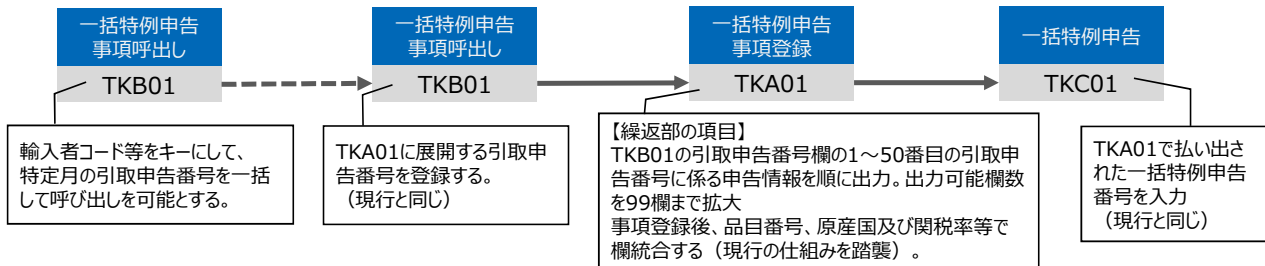
「輸入貨物許可承認等実績データ (I52)」  
「輸入貨物取扱実績データ (I54)」  
「輸入申告審査区分別一覧表 (I56)」  
「包括保険使用実績データ (I57)」

## VIII 詳細仕様検討結果

|    |          |        |                   |              |
|----|----------|--------|-------------------|--------------|
| 通関 | 航空<br>海上 | 第19回WG | 基本IV-4<br>基本IV-14 | 特例申告業務の改善（3） |
|----|----------|--------|-------------------|--------------|

### ③一括特例申告の利便性向上

- 「一括特例申告事項呼出し（TKB01）」業務にて、輸入者コード等を入力することで、特定月の引取申告番号を一括して呼び出し可能とする。  
呼び出しを行える引取申告番号は、TKB01実施者が取り扱った引取申告分のみ
- 申告情報を「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務の繰返部にも出力可能とする。
- TKA01業務における繰返部の欄数を99欄まで拡大する。

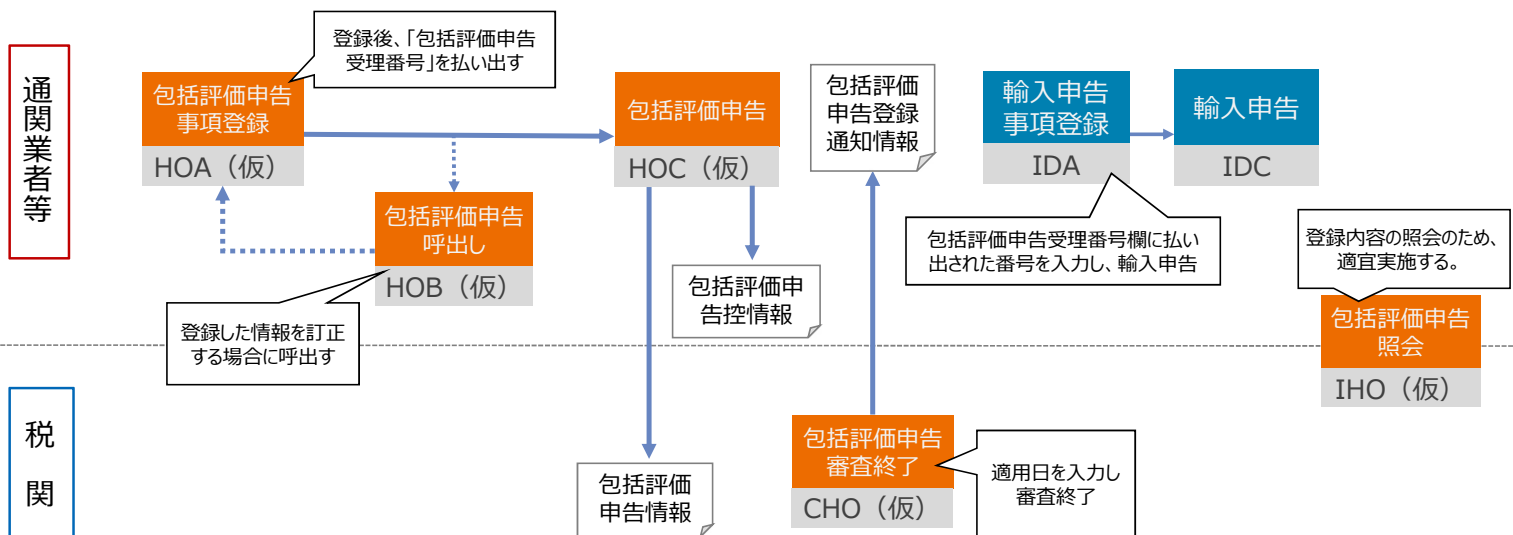


## VIII 詳細仕様検討結果

|    |          |        |        |              |
|----|----------|--------|--------|--------------|
| 通関 | 航空<br>海上 | 第19回WG | 基本IV-4 | 包括評価申告の個別業務化 |
|----|----------|--------|--------|--------------|

包括評価申告書について、個別業務を新設し、システムによる申告を可能とする。

### 詳細仕様検討結果

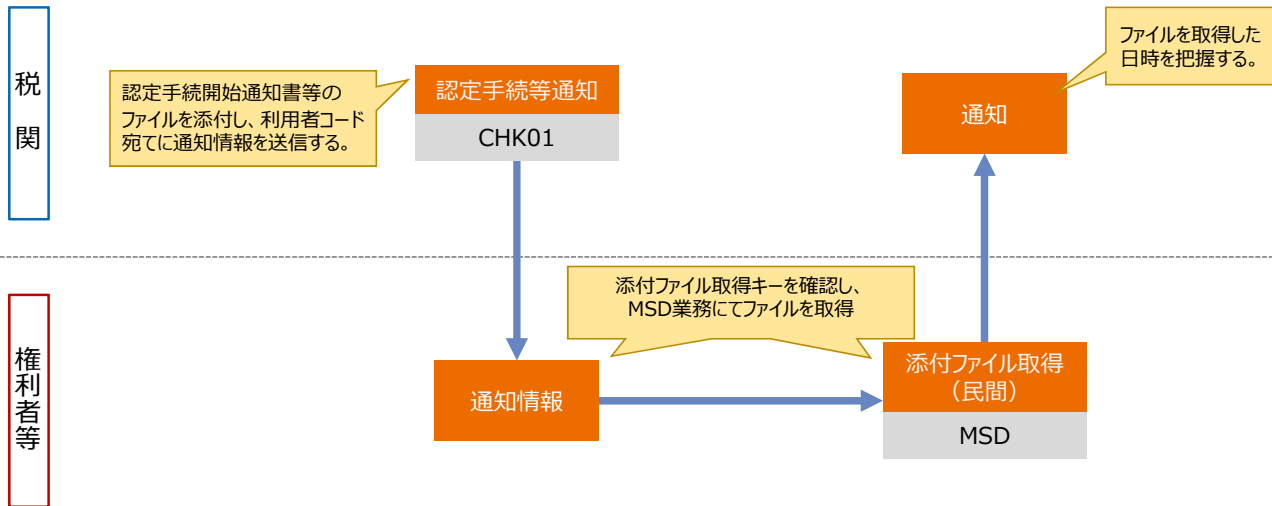


## VIII 詳細仕様検討結果

| 通関                                                                    | 航空<br>海上 | 第18回WG | 基本IV-14 | 知的財産関係手続に係る各種通知の電子化 |
|-----------------------------------------------------------------------|----------|--------|---------|---------------------|
| 現状、税関から権利者等に対し郵送している認定手続開始通知書等の知的財産関係手続通知書について、個別業務を新設し、電子的な送信を可能とする。 |          |        |         |                     |

### 詳細仕様検討結果

税関から民間利用者に対し、知的財産関係手続ファイルの送信を可能とする。



## VIII 詳細仕様検討結果

| 通関                                                                                                                                            | 航空 | 第16回WG | 基本IV-14<br>基本IV-18 | 機用品蔵入等承認申請の改善 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|--------------------|---------------|
| 機用品蔵入等承認申請事項登録(CTA)業務の入力項目「他法令」に「WA：ワシントン該当」の入力を可能としその際、帳票に原紙提出要を出力する。<br>機用品蔵入等承認申請照会(ICT)業務における出力項目に「審査検査区分識別」を追加し、通関関係書類の提出要否判定結果を照会可能とする。 |    |        |                    |               |

### 詳細仕様検討結果

#### CTA業務画面(抜粋)

The screenshot shows a form for the CTA (Cargo Transfer Application) business. Key fields include 'AWB番号' (AWB Number), 'B/L番号' (Bill of Lading Number), '無為替輸入承認' (Non-exchange input approval), '仕入書価格' (Purchase price), '運送先' (Destination), and '記事' (Remarks). A red box highlights the '他法令' (Other Laws) field, which contains the code 'WA'. A red arrow points from this field to the explanatory text on the right.

以下の業務における入力項目「他法令」にコード「WA」を入力可能とする。  
 ・「機用品蔵入等承認申請事項登録（CTA）」業務  
 ・「機用品蔵入等承認申請変更事項登録（CTA01）」業務  
 帳票に原紙提出要を出力する。

#### ICT業務照会結果画面(抜粋)

The screenshot shows a window titled '機用品蔵入等承認申請照会情報' (Information on Inquiry for Cargo Transfer Application Approval). It contains fields for '申請番号' (Application Number), '登録年月日' (Registration Date), '大欄/少額' (Major/Minor Amount), '輸入者' (Importer), and '住所' (Address). A red box highlights the '区分' (Category) field, which is set to '01'. A red arrow points from this field to the explanatory text on the right.

出力項目に「審査検査区分識別」を追加

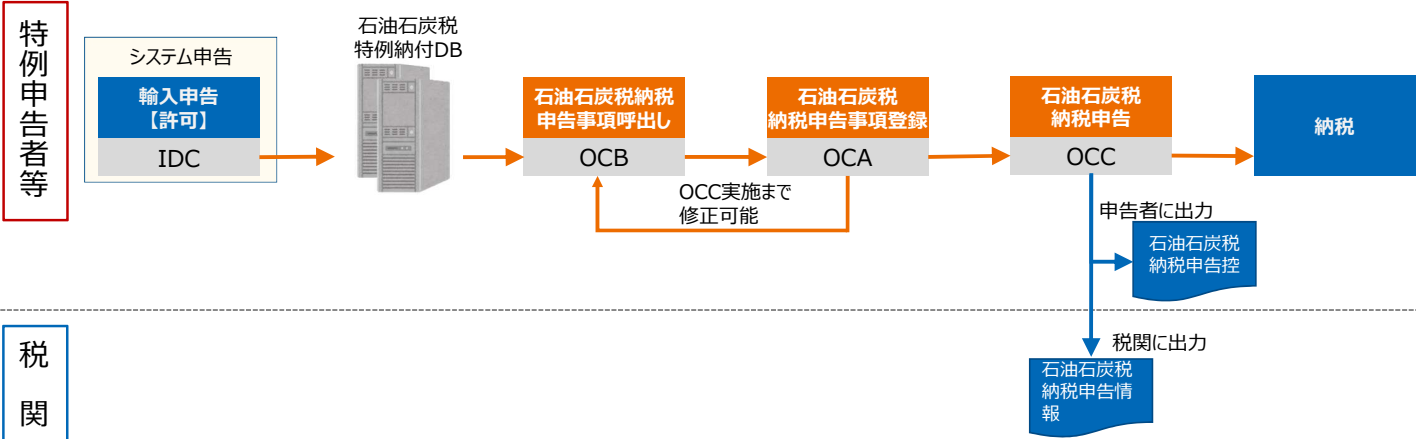
VIII 詳細仕様検討結果

|    |          |        |         |                             |
|----|----------|--------|---------|-----------------------------|
| 通関 | 航空<br>海上 | 第19回WG | 基本IV-14 | 石油石炭税法第15条に基づく特例納付のシステム化（1） |
|----|----------|--------|---------|-----------------------------|

マニュアルにて行っている石油石炭税法第15条に基づく納税申告について、システムでの申告及び納税を可能とすることにより、利便性の向上及び事務の効率化を図る。

詳細仕様検討結果

- ・ 輸入許可時に、納税申告に必要な課税標準等の項目を新規DB（石油石炭税特例納付DB。以下、「特例納付DB」という。）に登録する。
- ・ 特例申告者は特例納付DBから申告情報を呼び出し、納税申告に係る事項登録を可能とする（マニュアル申告については課税標準等の手入力が必要）。
- ・ 特例申告者だけでなく、通関業者による納税申告も可能とする。
- ・ 直納、マルチペイメント又はリアルタイム口座振替による納税を可能とする。



VIII 詳細仕様検討結果

|    |          |        |         |                             |
|----|----------|--------|---------|-----------------------------|
| 通関 | 航空<br>海上 | 第19回WG | 基本IV-14 | 石油石炭税法第15条に基づく特例納付のシステム化（2） |
|----|----------|--------|---------|-----------------------------|

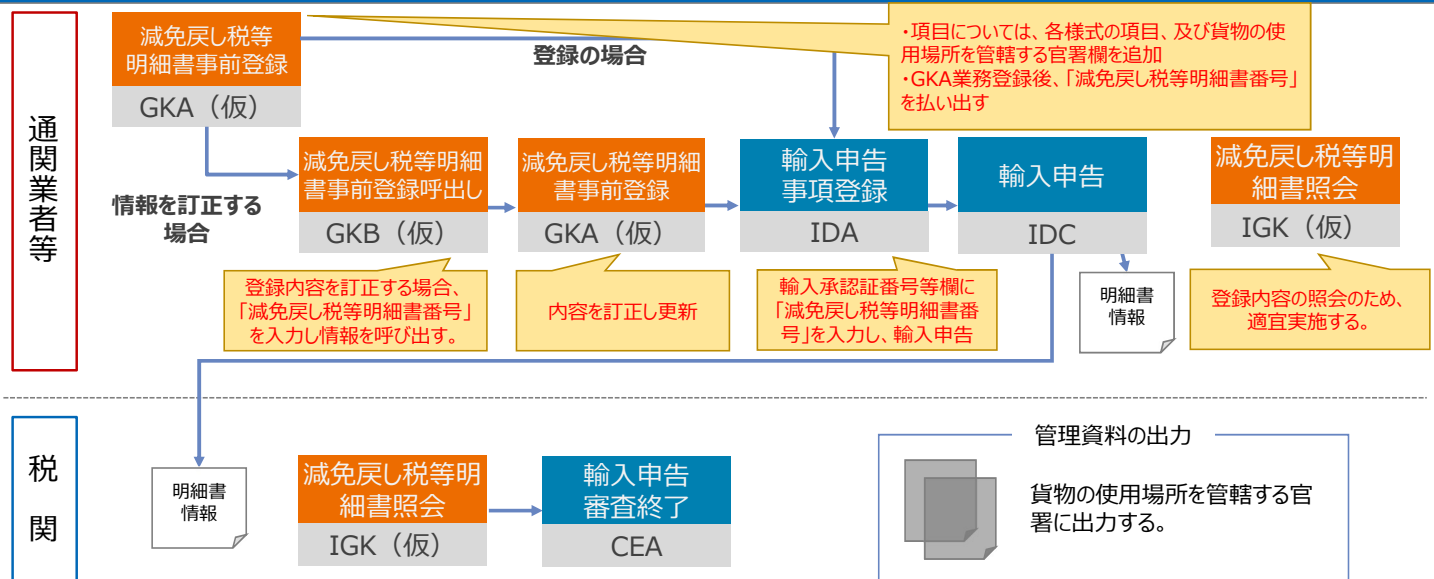
| 項番 | 業務名(仮)         | 業務コード(仮) | 業務概要                                                                                                                                                                                      |
|----|----------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 石油石炭税納税申告事項登録  | OCA      | ・OCB業務にて指定された申告情報を本画面に出力<br>・必要に応じて記載内容を修正し、納税申告内容を登録                                                                                                                                     |
| 2  | 石油石炭税納税申告事項呼出し | OCB      | ・新規登録時は「輸入者コード」を送信し、OCA業務未実施の輸入申告番号を本画面に出力し、納税申告の対象となる申告番号を指定し、OCA業務を呼出し<br>・事項登録内容を訂正する場合は、「石油石炭税納税申告番号」を送信し、OCA業務を呼出し<br>・事項登録内容に輸入申告番号を追加・削除する場合は「輸入者コード」及び「石油石炭税納税申告番号」を送信し、OCA業務を呼出し |
| 3  | 石油石炭税納税申告      | OCC      | ・納税申告を実施<br>・入力者に石油石炭税納税申告控を出力<br>・税関に石油石炭税納税申告情報を出力                                                                                                                                      |
| 4  | 石油石炭税納税申告照会    | IOD      | ・OCA業務で払い出された「石油石炭税納税申告番号」をもとに事項登録内容を出力                                                                                                                                                   |

## VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第18回WG 基本IV-14 減免戻し税等明細書提出のシステム化（1）

一部の減免戻し税等明細書について、個別業務を新設しNACCSで提出可能とする。

### 詳細仕様検討結果



## VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第18回WG 基本IV-14 減免戻し税等明細書提出のシステム化（2）

| 項番 | 業務名(仮)           | 業務コード(仮) | 業務概要                                                                                                                               |
|----|------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 減免戻し税等明細書事前登録    | GKA      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・減免戻し税等明細書に係る内容を登録</li> <li>・登録、訂正、取消しを可能</li> <li>・登録後に「減免戻し税等明細書番号」が払い出される</li> </ul>     |
| 2  | 減免戻し税等明細書事前登録呼出し | GKB      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力者がGKA業務で登録した情報を訂正または取消しするために呼出しを行う業務</li> <li>・「減免戻し税等明細書番号」を入力し、登録された情報を呼び出す</li> </ul> |
| 3  | 減免戻し税等明細書照会      | IGK      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力者が登録した情報を照会するために行う業務</li> <li>・「減免戻し税等明細書番号」を入力し、登録された情報を呼び出す</li> </ul>                 |

© 2012 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved. This publication is protected by copyright. Any unauthorized distribution or reproduction of this work is illegal. All other rights reserved.